

仁多地域統合小学校の建設地について

これまで、昨年5月の総合教育会議にて仁多地域統合小学校の建設地候補地を現三成小学校敷地とすることを確認し、話を進めていましたが、議会において昨年10月に学校再編・再開発特別委員会が設置され、3月末に、「現三成小学校という意見もあったが、仁多中学校隣接地が最も妥当と判断した」との中間報告がありました。

そして、5月24日の建設地ミーティングでのご意見や専門的知見から町なかでの学習活動の重要性など、これまで様々な意見をいただきました。また、6月13日に開催された、議会 学校再編・再開発特別委員会では、それぞれの委員（議員）の皆さんのお考えをお聞かせいただきましたが、議会の皆さんは意見が半分に分かれているように受け止めました。

その後、6月15日には総合教育会議を開催し、教育長をはじめ、教育委員の皆さんのご意見を伺いました。議事の詳細は間もなくホームページに公開されますので、それをご覧いただければと思いますが、3名の委員は現三成小学校敷地とのご意見でしたが、1名が仁多中学校隣接地、1名が「どちらかは答えられないが、みんなが前を向けるような明確なものがあるとよい」とのことでございました。そして、最終的には町長の私に判断について一任していただくことになりました。

議会の皆さん、総合教育会議も意見が分かれるように、三成小学校敷地、仁多中学校隣接地それぞれ一長一短がありますが、できるだけ早期に建設地を決める必要があります。

ただ、議決権のある議会、学校の設置・管理の権限がある教育委員会、そして何より保護者をはじめとする地域の皆さんがそれぞれ納得したうえで、未来ある子供たちの素晴らしい学び舎になるよう力を合わせて進めていくことも同様に重要であります。

私は、自身の任期中に何とか決着したい一心で、6月定例議会初日に「本定例議会の会期中に関連予算も含めて議会へ提案したい」旨を申し述べました。しかしながら、私の力不足により、現段階において関係の皆さんが力を合わせて進めていけるような方向にまとめ上げることができませんでした。

町民の皆様、保護者の皆様に深くお詫び申し上げます。

こうした状況の中では、9月に退く私が決定するよりも、町民の皆さんの付託を得て次なる4年任期を全力で取り組まれる新町長が先頭になって小学校再編を進めて行くことが、町民の皆様にとってより良いのではないかと考え、最終的には新しい町長に最終判断を委ねたいとの思いに至りました。

しかしながら、仁多地域の保護者の皆さんは早期の小学校再編統合を望んでおられますので、新たに奥出雲町のリーダーとなる新町長に就任後すぐに判断していただけるように、引き続き議会と協議を重ねながら鋭意進めていきたいと考えております。

私の力不足によりこのような判断となりましたこと、町民の皆様、保護者の皆様に、重ねて深くお詫び申し上げます。

令和4年6月24日

奥出雲町長 勝田康則